

# 代表樹種 ホルトノキ



〔撮影場所;八幡西区折尾〕

ホルトノキ科 ホルトノキ <別名//モガシ> 常緑広葉高木 樹高10~15m

樹木全体の感じは一見ヤマモモに似ているが、葉の厚みが薄く光沢がある。春から夏にかけて、前年以前の古い葉が紅色に染まって落葉する。夏に白い小さな花をつけるが、あまり目立たない。名の由来は、実がオリーブの実に似ており、この木からもオリーブ油(当時はホルトガル(ポルトガルの意)油と呼ばれていた)が取れると誤認されたことから、ホルトガルの木→ホルトノキと呼ばれるようになったと言われている。病虫害が少なく、都市環境に強いが、生長はやや遅い。



こんもりと笠を押しつぶしような形にまとまる樹形



葉と幹肌  
春から夏にかけて、前年以前の古い葉が紅葉し落葉する。  
幹肌の色はヤマモモに比べ、やや黄土色が増す。



街路樹としての代表的路線

門司区 高田1号線

小倉南区 幹線5号線(志井地区)

八幡西区 乙丸折尾線(折尾地区)

若松区 波打町5号線、安瀬町小石線